株式会社

段ボールで実現 木製品に劣らない強度を











も軽減した。さらに、

害虫駆除の観 海外との輸出 軽量化を実現し、使用後の処分コスト れる十分な強度を持ちつつ、

大幅な

展開している。製品の特性上求めら 込む物流用パレットなどを主力に事業

据え、従来の木製品からの置き換え でも使用されるため、 からも大きなメリットを持つ。 屋内での使用をメーンターゲットに

強み 独自ルートで調達強化ライナーを

需要を狙っている。

製紙メーカーでは製造していない。 このライナーはアメリカ製で、 り、このライナーを2層または3層にし た段ボールを使用している。1m四方の の紙にある。坪量(1㎡あたりの紙の は、ライナーと呼ばれる段ボールの外側 強化するのが一般的。だが同社の秘訣 強化段ボールといえば、内部の芯を が通常の2倍近い440gもあ 耐重量はなんと3 to 日本の

づくりに対応している。 のも特徴。これにより、 また、組立作業に特化するのではな 箱の設計から自社で手がけている 柔軟な製品

現在大きな注目を集めているのが

やりたい」と意気込む。

緊急非常用簡易トイレ

大反響となった

木製並みの強度を誇る強化段ボール製の物流用パレット

する。 可能。 あるため、 策として開発した。 組み立て、ビニール袋を被せて使用 運び容易な箱から取り出して素早く 災害時に深刻となるトイレ不足の解決 強化段ボールを用いた緊急非常用簡易 トイレ「@ 東日本大震災をきっかけに、 適切に使えば何年でも使用 (アット)トイレ」。持ち 強度は約1tも

重量のある自動車・機械部品を輸送

加工と販売。モーターやポンプなど

事業の80%を占めるのは強化段ボー

段ボールで梱包箱やパレットを

する梱包箱のほか、

船や航空機に積

う。これを あまりの反響の大きさに驚いたとい 交流は続けていた住谷正司社長だが、 に販売を開始。これまで異業種との 平成26年から小売店向けに本格的



0)

災害時の活用を見込む簡易トイレ

期待する。

異分野との コラボレーションを

切り替えるだけでは、 住谷社長は方針を語る。 いないものを段ボール化したい」と 小さい。そのため、 ただ単に木製品を段ボール製品 「今まで作られて 商品の訴求力は

地域への貢献活動にも積極的に参加

ボレーションを続け、 傾向が進む中で、「違う分野とのコラ された。強度の面では、音楽イベント 社の強化段ボールによる桟敷席が設置 などの特設野外ステー で実施された能舞台イベントでは、 十分応用が可能という。 段ボール箱の国内向け需要の 平成27年秋に大阪府の淀川河川敷 新し ジの足場にも 縮

COMPANY PROFILE

京阪紙工株式会社



創業者である私の父で現会長の住谷正喜は、国内初の3層 強化段ボール製造を始めた山田ダンボール(株)の出身。創業 以来、強化段ボールの独自ノウハウを持ち、木箱製品から 段ボール箱製品への切り替えを提案し続けてきました。単なる 受注生産ではなく、梱包設計から自社で独自に手がけること で、差別化を図っています。

長年の3層強化段ボールが、高い評判を得ています。 今後は分野を超えて、商品展開を強化していきます。

代表取締役 住谷 正司さん

■主な事業内容

3層強化段ボールケース、 段ボールパレットの製造・ 販売

■主な取引先 (納入先) 自動車部品メーカー、工作 機械・産業機械メーカー

所/〒574-0064 大東市御領 3-5-60 E L / 072-873-8393 X / 072-873-8372 業/昭和56年3月 立/昭和58年3月 資本金/1,000万円 従業員/10名

大阪 27

http://www.keihan-shikou.com/